

熱・水・環境のベストパートナー

# MIURA

## 小型貫流温水ボイラ

# EW

油 A重油  
油 灯油

### 30・40・50・60・80

### 安定したパーツ供給体制



ボイラ自動立体倉庫

部品は全てバーコードにてオンライン管理しています。北海道から沖縄まで全国どこへでも部品を迅速にお届けいたします。



部品用自動ラック

### 年中無休24時間のサービス体制

平日は拠点が、夜間・休日は「メンテサービスセンター」が応急処置のアドバイスや、フィールドエンジニアの出張修理依頼を行います。



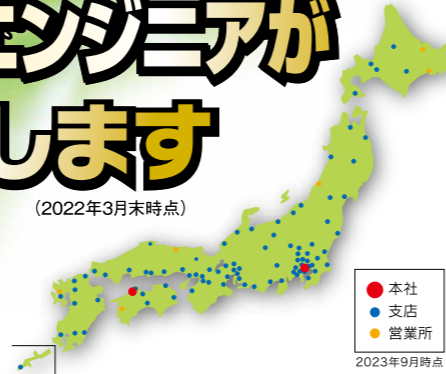
メンテサービスセンター

089-979-1234  
平日夜間(17:30~8:00)・土曜・日曜・祝日専用

# 約1,200名のフィールドエンジニアがお客様をサポートします

お客様と私どもとの間の  
時間と距離と心を  
最短でつなぎます

(2022年3月末時点)



● 本社  
● 支店  
● 営業所  
2023年9月時点

■小型・簡易ボイラをご使用いただくに当たり、事業主様の責務として、法令を遵守した届出、設置、施工、使用の義務がございます。■設置、施工に当たっては、関係法令を遵守すると共に、本装置の据付施工要領書に従い正しく施工してください。■関係法令は、消防法(火災予防条例を含む)、大気汚染防止法、労働安全衛生法、建築基準法、水質汚濁防止法、河川法、下水道法、公害防止条例、水道法、液化石油ガス法等がございます。また、他にも各都道府県・市の条例等がございますので、所轄の監督官庁へご確認ください。■ボイラブロー水には、高アルカリ、高温水、スラッジが含まれておりますので、必ず適切な排水処理を行ってください。

#### 設置手続き事例

■労働基準監督署  
小型ボイラー設置報告書  
事業主は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、ボイラー及び圧力容器安全規則により、「小型ボイラー設置報告書」を所轄の労働基準監督署長宛に提出する事。  
■ばい煙発生施設  
大気汚染防止法または地方条例により、ばい煙発生施設または特定施設に指定されている施設は、「ばい煙発生施設届出書」または「特定施設設置届」を都道府県または所轄の保健所、市等へ提出する事。

■消防署関係  
危険物に関する届出  
危険物を貯蔵または取り扱う施設は、その数量により規制を受けるため所轄の消防署へ必要な届出を行う事。  
ボイラー設置届  
ボイラーを設置する場合、「火を使用する設備設置届出書」を所轄の消防署へ提出する事。

#### 警告

・煙突(排気筒)は、排ガスによる人体やまわりの環境に有害な影響が出ないように正しく施工を行ってください。  
・ボイラを安全に設置・ご使用いただくために、上記法令(条例)等を確認し、遵守のうえご使用ください。設置方法を誤りますと火災・一酸化炭素中毒等により、人・物に重大な影響を与えるおそれがあります。  
・弊社に相談なく改造や修理を行うことは、安全に関して重大な影響を及ぼすおそれがあります。決して勝手な改造や修理は行わないでください。また、ボイラの移動・転売・再使用の際には、弊社にご連絡ください。

#### 安全に関するご注意

・商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。  
・より安全にご利用いただくために、感震器をお取り付けください。

◎輸出に関するご注意：本カタログ製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により、輸出規制品に該当する場合は、輸出する際に日本政府の輸出許可が必要です。輸出される場合には、弊社営業担当にお問い合わせください。

## 三浦工業株式会社

愛媛県松山市堀江町7番地 〒799-2696  
TEL 089-979-7000  
FAX 089-978-2321  
https://www.miuraz.co.jp  
プライム市場 証券コード 6005

### ISO 9001

ボイラ/水処理システム、オンラインによるメンテナンスサービスの品質保証体制

### ISO 14001

本社・本社工場・北家工場が環境マネジメントシステム登録事業所です



ミウラは Fun to Share に参加しています

製品改良のため、予告なく変更する場合があります。本カタログの内容は日本国内仕様です。本カタログに関するお問い合わせは最寄りの販売店・営業所へどうぞ。

# 高いボイラ効率と 省エネ化を実現 環境にやさしい温水ボイラ



# MIURA

印刷日'24年5月 PA040-01 ME  
本カタログの無断転載を禁止します。

# 高いボイラ効率と省エネ化を実現。 地球環境を考えた、温水ボイラEWシリーズ



## EW-H<sup>[暖房]</sup>SERIES

高圧での暖房用途にも  
対応可能な省エネタイプ。

無免許無検査で0.98MPaまで使用可能ですので、高層ビルを始め、一般建築物、ハウス、工場等あらゆる暖房熱源として使用可能です。真空式、無圧式と異なり、低圧損缶体を用いて、直接缶水を利用することができますので、設備の省エネを図ることができ、同時に熱交換器も不要ですので、コスト的にも大幅削減となります。

## EW-W<sup>[給湯暖房兼用]</sup>SERIES

ハイパワー&クリーンな給湯。

浴場、暖房、温水プール等さまざまな給湯設備に対応します。温水はステンレス製の熱交換器を通して作られますので、サビを防止しクリーンな給湯をする事ができます。また熱交換器を並設することにより、2回路、3回路への給湯も可能です。

水質によりSUS316又はチタン製の熱交換器も制作可能ですので、温泉等にもご利用いただけます。

## 高いボイラ効率で省エネ化

燃焼効率のよいバーナと、熱吸収のよい缶体構造を採用し、高いボイラ効率を実現しています。

## 無免許・無検査

安全性の高い多管式貫流温水ボイラのため、全機種ボイラ技士は不要です。

年1回の自主検査を行えば、性能検査の必要はありません。なお、暖房は水頭圧0.98MPaまで、給湯は、0.49MPaまで使用することができます。

## 手軽な運転

自動制御により、運転操作は各スイッチを入れるだけで簡単に済みます。

## 負荷にすばやく対応

多管式貫流温水ボイラは、保有水量が少なく、昇温時間が短いので、負荷に対してすばやく対応することができます。

## すぐれた耐久性・クリーン給湯

給湯は高性能熱交換器による間接加熱のため、直接給湯タイプに比べ腐食が少なく、また、熱交換器にステンレスを使用し、長期間クリーンな給湯をすることができます。

## 徹底したメンテナンス活動

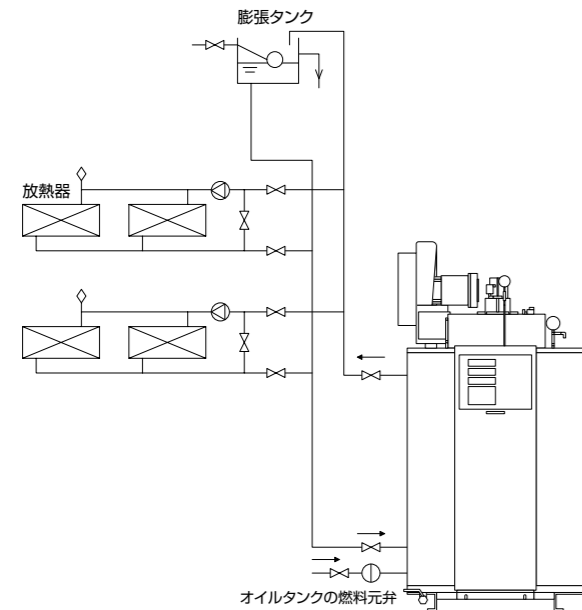
全国に広がるおよそ100ヶ所のミウラのネットワークに約1,200名のフィールドエンジニアを配置し、迅速なメンテナンスをご提供します。

# EW-H[暖房]SERIES

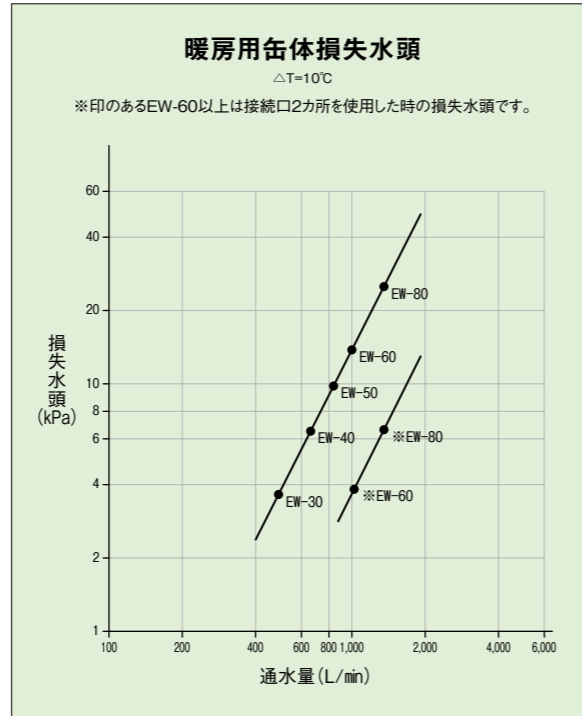
## フローシート

### 貫流温水ボイラ(暖房回路)

ボイラ水管内に送り込まれた水は水管内を上昇する際にバーナ燃焼により加熱され、温水となり負荷側へ供給されます。



## 基本仕様



要目	単位	型式	EW-30	EW-40	EW-50	EW-60	EW-80	備考
熱出力	kW		349	465	581	698	930	
暖房可能面積	m <sup>2</sup>		2,000	2,660	3,330	4,000	5,330	注1
最高水頭圧	MPa		0.98					
ボイラ種類	-		小型ボイラ(多管式貫流ボイラ)					
取扱者資格	-		事業主による「特別教育」受講者以上					
伝熱面積	m <sup>2</sup>		7.86	9.94	9.96		9.37	
ボイラ効率	%		85					注8
保有水量	L		210	265	275		250	
製品質量	kg		960	1,200	1,540	1,530	1,600	
	灯油	L/h	42.5	56.6	70.7	84.9	113.2	
燃料消費量	A重油	L/h	40.3	53.7	67.0	80.6	107.3	注3,5,8
	kW		411	547	684	821	1,094	
使用電源	-		AC200V・50/60Hz 3相					
設備電力	kW		1.9		4.2(4.1)		6.5	注2
ボイラ外形寸法(W×D×H)	mm		1,010×1,425×2,060	1,160×1,670×2,060	1,865×1,680×1,920		1,845×1,760×2,010	
燃焼制御方式	-		三位置制御方式					
型式	-		強制押込通風油圧力噴霧方式					
着火方式	-		高圧電気スパーク方式					
燃焼検知方式	-		炎センサ					
接続口径	温水出口・返り口		80		100			注6
	排水口	A			25			
	燃料入口				20			
	排気筒	φmm	250	290	330	360		注7

注1. 暖房負荷係数は628kJ/mhとしています。  
注2. 設備電力の( )内は灯油仕様を示しています。EW-30-40-80のみ灯油仕様・A重油仕様を示しています。  
注3. 燃料の発熱量は、下記数値を使用しています。

燃料種	低発熱量	密度
灯油	43.5MJ/kg	0.80g/cm <sup>3</sup>
A重油	42.7MJ/kg	0.86g/cm <sup>3</sup>

注4. 水質により水処理製品の必要な場合がありますので、最寄営業所へお問い合わせください。  
注5. A重油をご使用の場合は、JIS1種1号を推奨致します。  
燃料中の硫黄分と結露水により排気筒内面が腐食します。また、腐食物の飛散により、屋根、建屋、その他周囲のものを腐食させたり汚したりすることがあります。  
よって硫黄分の低いJIS1種1号を推奨致します。

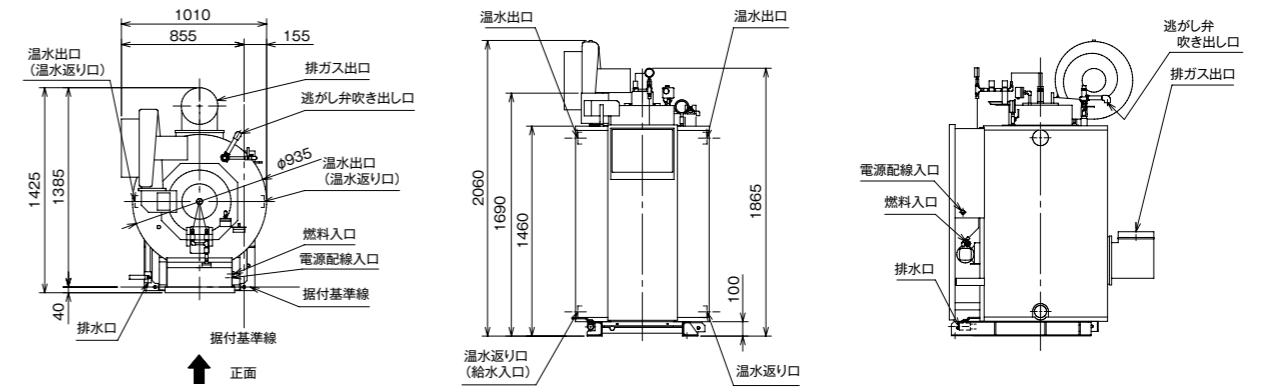
注6. 本体温水出口・返り口径は65Aですが、ボイラ付属の異径ソケットにより、下表の通り口径が変わります。

型式	口径
EW-30	80A
EW-40・EW-50・EW-60・EW-80	100A

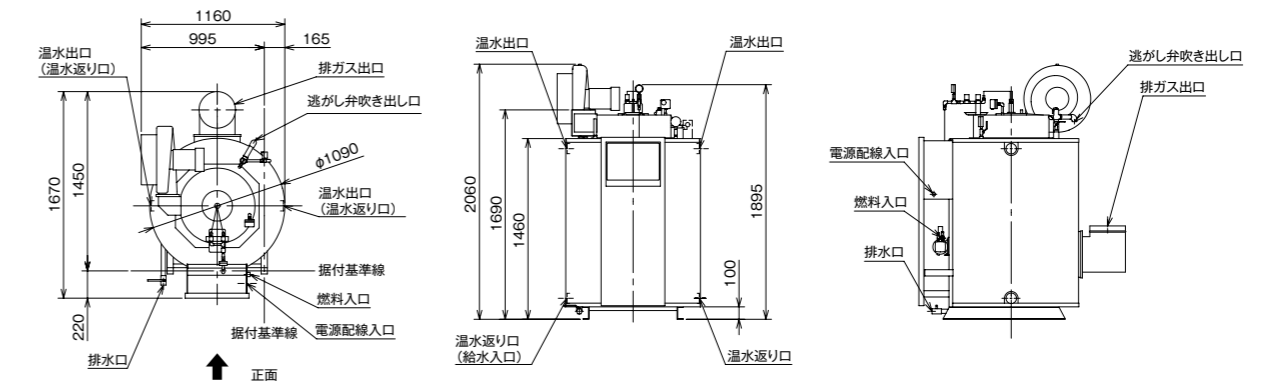
注7. 排気筒は材質SUS430の順差型としています。  
注8. (1)ボイラ効率は下記によるものです。  
運転状態:給水温度15℃、給気温度35℃、出湯温度60℃  
熱効率方式:JIS B 8222  
(2)誤差として、下記の許容値をもつものとしています。  
ボイラ効率の誤差 ±1%、燃料消費量の誤差 ±3.5%  
注9. 温水返り温度は、55℃以上になるようにしてください。55℃未満になりますと結露水発生による腐食の恐れがあります。(55℃以上の場合でも、環境状態や運転状態によっては結露が発生することがあるため、60℃以上を推奨します。)  
注10.缶水温度は85℃以下に設定してください。  
■熱出力、燃料消費量、設備電力は日本暖房機器工業会「温水発生機、温水ボイラ性能表示ガイドライン」による。

## 寸法図

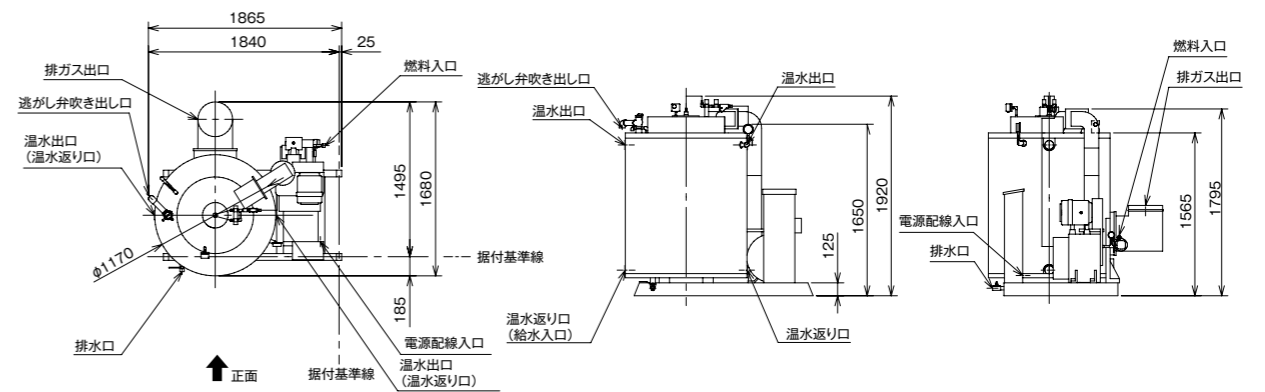
### EW-30



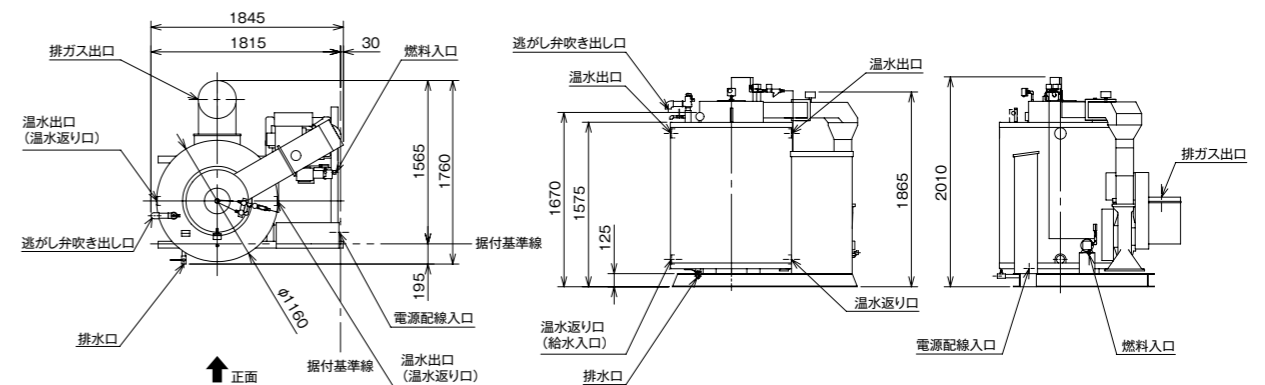
### EW-40



### EW-50・60



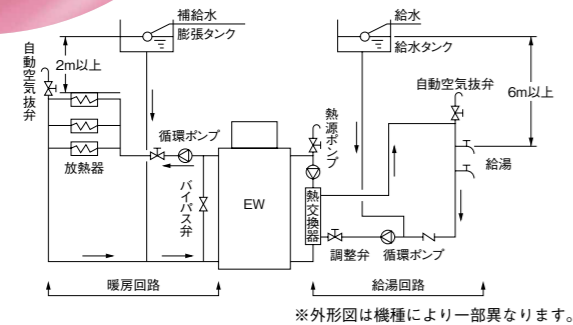
### EW-80



# EW-W [給湯暖房兼用] SERIES

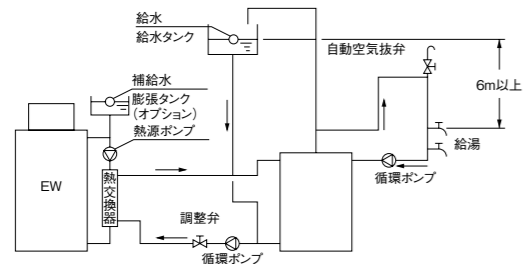
## フローシート

フローシート(2系統の場合を示します。)



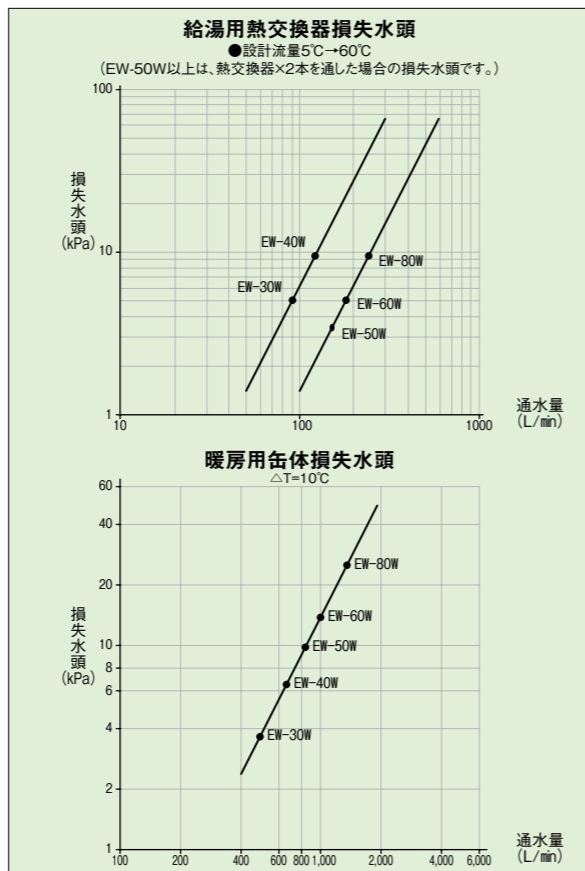
※外形図は機種により一部異なります。

貯湯タンク設置の場合の標準配管例



- ※1. EWに貯湯タンクを設置する場合、貯湯タンクにサーモスタットを取り付けて、ボイラを制御する事と溶解栓・逃がし管(25A以上)を併用してください。
- ※2. 給水はタンクの下部から取り出し、循環ポンプ吸込側へ配管してください。
- ※3. 給湯はタンクの頂部より取り出し、タンク上部へ返してください。
- ※4. 詳細につきましては、最寄営業所へお問い合わせください。
- ※5. 温水配管は高温となるため、火傷防止対策として保温材を施工してください。

## 基本仕様



要目	単位	型式	EW-30W	EW-40W	EW-50W	EW-60W	EW-80W	備考
給湯出力	kW		349	465	581	698	930	注1,7
給湯給湯量	L/h		5,455	7,273	9,091	10,909	14,545	注1
暖房定格熱出力	kW		349	465	581	698	930	注7
暖房可能面積	-		2,000	2,660	3,330	4,000	5,330	注3
ボイラ種類	-		小型ボイラ(多管式貫流ボイラ)					
最高水頭圧	MPa		1次側0.78・2次側0.49					
取扱者資格	-		事業主による「特別教育」受講者以上					
伝熱面積	m <sup>2</sup>		7.86	9.94			9.37	
ボイラ効率	%				85			注11
保有水量	L		230	285		310	285	
製品質量	kg		1,080	1,300	1,740	1,730	1,790	
燃料消費量	L/h		42.5	56.6	70.7	84.9	113.2	
燃料消費量	A重油		40.3	53.7	67.0	80.6	107.3	注4,8,11
使用電源	-		411	547	684	821	1,094	
設備電力	kW		2.65		50W, 60Wとも共通		8.0	
送風機	50Hz/60Hz		1.5		3.7		6.0	
熱源ポンプ			0.75		0.75×2		6.0	
ボイラ外形寸法	mm		1,325×1,425 ×2,155	1,480×1,670 ×2,155	2,165×1,755×2,235		2,160×1,835 ×2,250	
燃焼制御方式	-		三位制御方式					
型	-		強制押込通風油圧力増強方式					
着火方式	-		高圧電気スパーク方式					
燃焼検知方式	-		炎センサ					
温水出口・返り口	給湯		50		50×2		50×2	注5
排水口	暖房		80		100		100	注9
燃料入口	A		25		20		20	
排気筒	φmm		250	290	330		360	注10

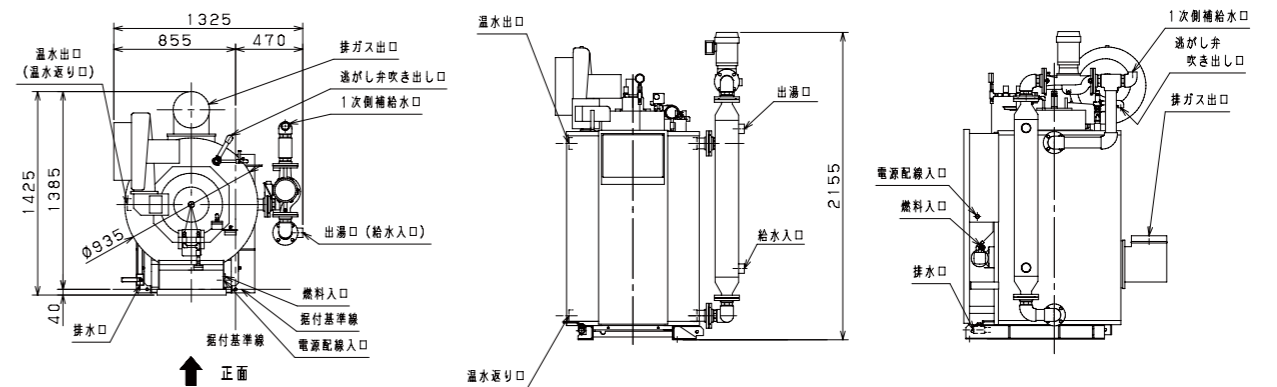
- 注1. 給湯出力・給湯量は5℃→60℃の場合を示します。
- 注2. 熱交換器の組み合わせにより2系統、3系統仕様が可能です。最寄営業所へお問い合わせください。
- 注3. 暖房負荷係数は628kJ/mhとしています。燃料の発熱量は、下記数値を使用しています。
- 注4. 燃料消費量は、下記数値を使用しています。
- 注5. EW-50W以上は、熱交換器2本で給湯1回路となります。水質により熱交換器の材質変更が必要な場合があります。
- 注6. 給湯・暖房の定格熱出力は、それぞれ単独に使用した時の値です。
- 注7. A重油をご使用の場合はJIS1種1号を推奨致します。
- 注8. 本体温水出口・返り口径は65Aですが、ボイラ付属の異径ソケットにより、下表の通り口径が変わります。
- 注9. 注10. 排気筒はSUS430の順差し型としています。
- 注11. (1)ボイラ効率は下記によるものです。運転状態:給水温度15℃、給気温度35℃、出湯温度60℃ 熱効定方式JIS B 8222 (2)誤差として、下記の許容値をもつものとしています。ボイラ効率の誤差 ±1%、燃料消費量の誤差 ±3.5% 暖房回路の戻り温度は、55℃以上になるようにしてください。55℃未満になりますと結露発生による腐食のおそれがあります。(55℃以上の場合でも、環境状態や運転状態によっては結露が発生することがあるため、60℃以上を推奨します。)
- 注12. 缶水温度制御となります。缶水温度は85℃以下に設定してください。各回路は別途温度調整してください。
- 注13. ■熱出力、燃料消費量、設備電力は日本暖房機器工業会「温水発生機・温水ボイラ性能表示ガイドライン」による。

燃料種	低発熱量	密度
灯油	43.5MJ/kg	0.80g/cm <sup>3</sup>
A重油	42.7MJ/kg	0.86g/cm <sup>3</sup>

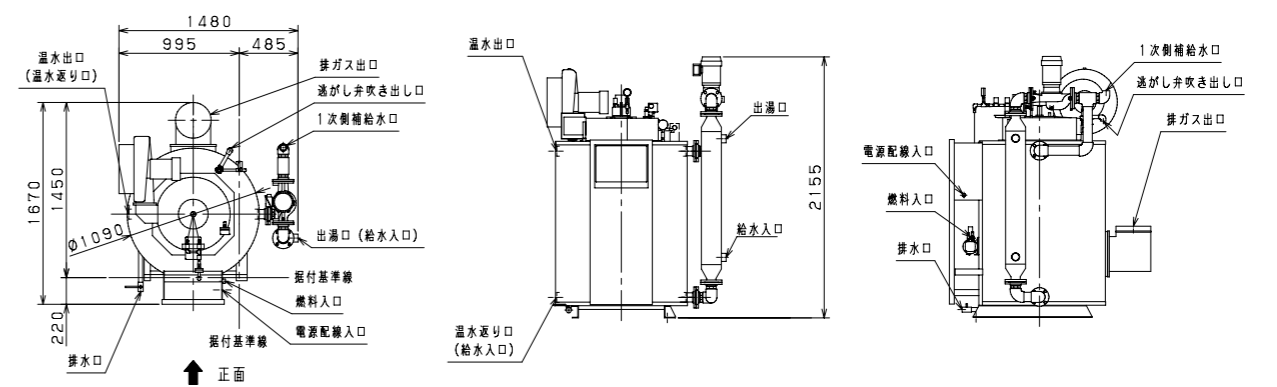
型式	口径
EW-30W	80A
EW-40W・EW-50W・EW-60W・EW-80W	100A

## 寸法図

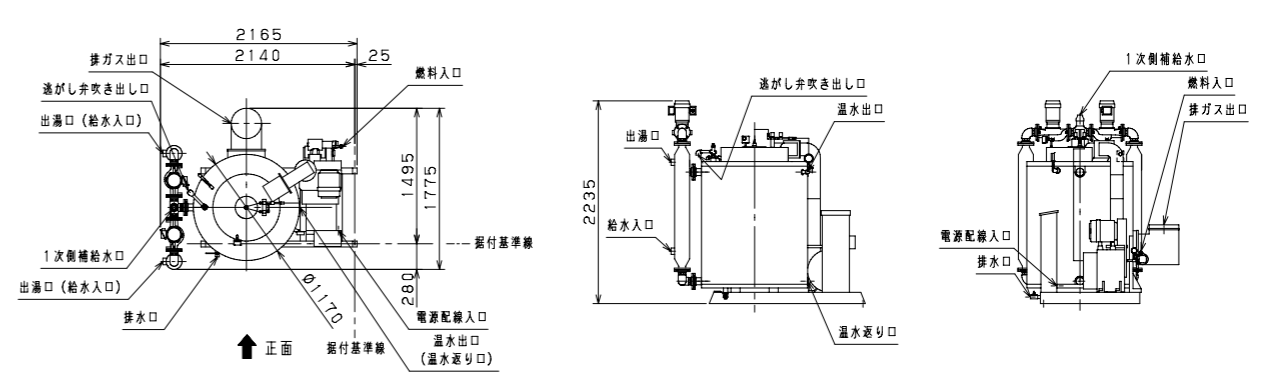
### EW-30W



### EW-40W



### EW-50W・60W



### EW-80W

